



外部イベントのご案内

平成29年度 科学技術人材育成費補助事業フォーラム 「研究力強化に向けた女性研究者の活躍」

主催：国立研究開発法人科学技術振興機構 科学技術プログラム推進部

日時	平成30年3月2日 (金) 13:00~17:00 (17:30~ 19:00 情報交換会)
場所	ベルサール神田 2階イベントホール 〒101-0053 東京都千代田区神田美土代町 7 住友不動産神田ビル 2・3F
対象	一般、DSO参加機関
申込	参加登録 URL http://www.jst.go.jp/shincho/sympo/2017/index.html

平成29年度 科学技術人材育成費補助事業フォーラム

研究力強化に向けた 女性研究者の活躍促進

参加費
無料

多様な視点や発想を取り入れて研究活動を活性化し、組織の創造力を発揮するためには、女性研究者の活躍促進のための取組が大切です。機関においては、女性研究者の活躍を適し、機関自身の業績や特色の現状分析、目指す姿や目標の設定、その達成に向けた組織の長期的なリーダーシップの下での実現可能性のある行動計画を体系的かつ継続的、継続的に実施することが期待されています。本フォーラムでは、こうした機関の取組事例を紹介し、現状や課題を共有し、共有することで、研究力強化に向けたこれからの在り方について探ります。

【プログラム】

- 1300 【開会】
- 1306-1315 【施設説明】 文部科学省
- 1315-1415 【昼食時間】
- 1415-1435 【休養】
- 1435-1535 【パネルディスカッション第1部】
大学マネジメントの観点からの女性活躍促進の在り方
モデレーター：吉岡博之 (京都大学 理事)
- 相田 美砂子 (広島大学 理事・副学長)
- 伊東 昌子 (長崎大学 副学長)
- 藤原 裕之 (名古屋大学 学長)
- 工藤 真由美 (大阪大学 理事・副学長)
- 宮浦 千里 (東京農工大学 副学長)
- 1535-1555 【休養】
- 1555-1650 【パネルディスカッション第2部】
女性研究者の日常的な支援の在り方について
モデレーター：山村 康子 (科学技術振興機構 プログラム主管)
- 山上 優子 (山形大学 理事)
- 河野 純之 (筑波大学 助教)
- 栗村 博子 (北信濃大学 副学長)
- 田嶋 美子 (大阪大学 特任准教授)
- 高津 美咲子 (東北大学 准教授)
- 佐々木 啓子 (電気通信大学 教授)
- 栗田 千尋 (南山大学 教授)
- 行木 麻子 (日本アイ・ピー・エム 理事)
- 1700 【閉会】
- 1730-1900 【情報交換会】 ポスターセッション同時開催

3/2(金)
13:00-17:00
(情報交換会 17:30-19:00)

ベルサール神田
2階イベントホール



東京都千代田区神田美土代町7
住友不動産神田ビル2・3F
〒101-0053

アクセス：有明駅より
1)有明駅北口徒歩2分(南有明)
「新大塚」駅より徒歩2分(南有明)
「有明駅」A5出口徒歩5分(有明)
「神田駅」北口徒歩7分(有明)
「有明駅」A5出口徒歩5分(有明)
「大手町駅」C1出口徒歩6分
(有明駅より、有明、東西線三田駅、千代田)

文部科学省 科学技術人材育成費補助事業フォーラム

研究力強化に向けた 女性研究者の活躍促進

2018/3/2 (金) 13:00-17:00
ベルサール神田 2階イベントホール

入場無料
(事前登録制)

事例紹介

堤玉 留雄 金沢大学 教授
菅原 悦子 若手大学 理事・副学長
高橋 善代 岡山大学 理事・副学長
田中 弘美 立命館大学 副学長
玉上 真 九州大学 理事

パネルディスカッション第1部

大学のマネジメント観点からの女性活躍促進の在り方

吉武博通 首都大学東京 理事 *モデレーター
相田 美砂子 広島大学 理事・副学長
伊東 昌子 長崎大学 副学長
藤原 裕之 名古屋大学 学長
工藤 真由美 大阪大学 理事・副学長
宮浦 千里 東京農工大学 副学長

パネルディスカッション第2部

女性研究者の日常的な支援の在り方について

山村 康子 科学技術振興機構 PO *モデレーター
山上 優子 山形大学 准教授
河野 純之 筑波大学 助教
栗村 博子 名古屋大学 副理事
西岡 美子 大阪大学 特任准教授
有澤 美咲子 東北大学 准教授
佐々木 啓子 電気通信大学 教授
栗田 千尋 富山大学 教授
行木 麻子 日本アイ・ピー・エム 理事

主催：文部科学省

後援：内閣府、経済産業省、厚生労働省、男女共同参画学会連絡会（はすだ）

協力：国立研究開発法人科学技術振興機構

www.jst.go.jp/shincho/sympo/2017/index.html



DSO参加機関イベントのご案内

■ 筑波大学 ■

「ファシリテーション講座 ～問いが変われば会議が変わる～」

日時	3月13日（火） 13:30～17:00
場所	筑波大学 本部アネックス棟 1
対象	筑波大学関係者、DSO参加機関
申込	ファシリテーション講座申込 http://ura.sec.tsukuba.ac.jp/archives/15184

主催：筑波大学URA研究戦略推進室 協力：ダイバーシティ・アクセシビリティ・キャリアセンター




Background image designed by freepick

2018年
 日時：3月13日（火）
 13:30～17:00
 場所：筑波大学本部アネックス棟 1
 対象：筑波大学関係者（先着 20名）

本講座では、会議参加者一人ひとりの主体的な態度と意見を引き出すためのファシリテーションにおける問いのつくりとファシリテーションについて学び、実践します！

お申込み：
<http://ura.sec.tsukuba.ac.jp/archives/15184>

お問合せ：
ura_tsukubaja@un.tsukuba.ac.jp
 ※[a]を@に変更してください





DSO参加機関イベントのご案内

■ 物質・材料研究機構 ■

「仕事と介護の両立セミナー ～初動編～」 講師：和氣美枝 氏

日時	3月16日（金） 14:00～15:30
場所	NIMS千現地区 第2会議室
対象	DSO参加機関、NIMS全職員
申込	①氏名 ②所属 ③連絡先を記載して、お申込み下さい。 kyodosankaku@nims.go.jp（締切 3/12）



平成29年度男女共同参画キャリアエンカレッジメントセミナー

仕事と介護の両立セミナー ～初動編～



<対象者>
・介護に漠然とした不安を感じている介護未経験者の方

<概要>
●これだけは押さえて介護保険（30分）
●介護をしながら働くということ（10分）
●仕事と介護の両立する（30分）
●質疑応答（20分）

日時：平成30年3月16日（金）
14:00～15:30

場所：物質・材料研究機構（千現地区）
研究本館 第2会議室

対象：NIMS全職員

講師：和氣 美枝 氏

初の著書「介護離職しない、させない」毎日新聞出版）を28年5月に発行。
介護離職防止の啓発のために企業や自治体、労働組合などで講演会をする傍ら、NHKラジオ第1、読売新聞などメディア媒体からも積極的に情報発信をしている。



申込方法：
平成30年2月28日（水）までに
件名「介護セミナー申込」とし、
①氏名 ②所属 を記載して
kyodosankaku@nims.go.jp まで
電子メールにてお申込みください。

男女共同参画委員会では、セミナー・啓発活動等を通じて問題の見える化を図り、様々な取組を行って参ります。

【問い合わせ先】 人材開発・大学院室
TEL 029-859-2286
E-mail kyodosankaku@nims.go.jp



DSO事務局の活動報告

平成29年度総会・第2回懇話会 & 交流会

平成30年2月15日、森林研究・整備機構森林総合研究所にて、筑波大学の河野氏によるセクシュアル・マイノリティに関する講演会、および、DSO懇話会・交流会を開催しました。

懇話会には環境研、高エネ研、森林総研、産総研、筑波大、農研機構、理化学研、JAXA及びNIMS 9機関の代表者が参加し、情報共有、および意見交換が行われました。



懇話会では、以下の二つのテーマで参加の各機関から取組の説明がありました。

テーマ 1「各機関における定年後のキャリア支援について」

テーマ 2「女性管理職の現状と今後の増加に向けた取り組み」

テーマ1の再雇用希望に関する説明会や研修は、ほぼ全ての機関において行われており、どの機関でも人事部または総務部が担当しています。併せて外部機関（KKR等）に依頼し、共済・公的年金制度の説明を行う機関も複数ありました。ある機関では、定年退職直前の実施ではなく、50代からライフプラン研修を年7回開催するなど、職員が退職に際して感じる不安を取り除き、仕事に対するモチベーション維持と向上を図っています。研修のタイミングについても、退職直前の説明会レベルから50代の早い段階における意識改革まで様々な取組がなされています。実施時期と内容については、制度を運用しながら、各機関や職員の実情にあうようにどのような改善を進めるかが今後の課題となりそうです。

テーマ2では、各機関から女性管理職の増加に向けた支援への取組が紹介されました。セミナー開催やアンケート聞き取り、在宅勤務等を継続的に実施するなど積極的に進められています。上位管理職がメンターとなるメンター制を導入している機関もあります。今後は退職者の増加、男女問わず管理職を希望する職員が少ないなど、課題は多いようです。ロールモデルを明示すると共に管理職への登用を希望する環境を整えることが重要であり、参加機関それぞれが、職員の意識改革と職場の環境改善に重きを置く必要性を共有しました。

その後の交流会では、それぞれの機関の更なる取組みや運用上の悩み等が交わされました。



DSO事務局より

今月の本は、『ビッグツリー（著者：佐々木常夫）』です。長い人生においては、家族や自分の病気またはリストラ等により「こんなはずではなかった」と思う事態が発生します。厳しい現実を前にひとしきり狼狽えたあと、人はどうやってそれを受容し、乗り越えていけばいいのでしょうか。

“自分の境遇を嘆くのではなく、今の境遇で出来ることはなにかを考える”

女性は、仕事、家事、育児をこなすことを期待されており、ある程度の覚悟はできています。でも、それに介護が加わるとどうでしょう。個人的には、不安で立ち尽くすばかりです。そんな時、出世（東レ元取締役）、家事、育児、介護をやり遂げた著者の、この言葉は胸に沁みました。

ここに書かれているのは単なる精神論ではなく、現在の働き方改革に通じるマネジメントのコツも教えてくれるため、仕事をする上での気持ちも前向きになります。

著者は、平成29年12月の財務省広報誌『ファイナンス』掲載の上級管理セミナーでも、その極意を語られています。よりプラクティカルですので、ご一読をお勧めします。

(http://www.mof.go.jp/public_relations/finance/201712/201712o.html)

ちなみに、この本ですが、うっかり奥様に読ませると「（著者の）爪の垢でも煎じて飲め」と言われ、夫婦仲に影響するそうですので、ご注意ください。

なお、今月（3/16）、NIMSにて介護離職防止セミナーを開催いたします。「その日」が来る前に、必要な知識を入れておくのもビッグツリー（家族を支える大樹）として重要です。DSOの皆さま、男女問わず、ご聴講を歓迎いたします。（岩澤）



ダイバーシティサポートオフィスのご案内

ダイバーシティ・サポート・オフィス（DSO）は、研究教育18機関をメンバーとして、平成19年より男女共同参画を連携して推進しています。参加機関相互のイベント等の機会提供、情報交換を行っています。当初は、科学技術振興調整費の支援を受けてスタートしましたが、現在はイコールパートナーシップでメンバーが対等に運営する、より開かれたDSOとして活動しています。

*DSOメンバー：産業技術総合研究所、森林総合研究所、物質・材料研究機構、農業・食品産業技術総合研究機構、千葉大学、筑波大学、神戸大学、土木研究所、国立環境研究所、国際農林水産業研究センター、防災科学技術研究所、高エネルギー加速器研究機構、理化学研究所、宮崎大学、上智学院、岡山大学、宇宙航空研究開発機構、大阪大学（加入順）

「DSO News Letter」は各DSO参加機関へ、それぞれの機関で働く方へ、また広く外部に向けて情報発信するツールとして発行しております。当Letterの紹介も歓迎いたします。